

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしい子:かっばい たくましい子:やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和7年10月31日(金)

11月号

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 148名

つながりづくり

校長 中野尾 奈都江

10月後半から秋が急に深まり、正面玄関の大きなキンモクセイ(金木犀)の木は、満開に花を咲かせています。秋を代表する橙色(だいたいいろ)の花が、強くて甘い香りを辺り一面に漂わせています。4階の音楽室からは、キンモクセイの花を上から見るができます。



正面玄関のキンモクセイ

11月8日(土)の校内音楽会に向けて、子ども達は一生懸命に合唱や合奏の練習をしています。きれいな歌声や合奏の音色が、キンモクセイの香りとともに、和土小の校舎を包んでいる秋です。

10月3日(金)に、岩槻高校の13名の生徒が来校しました。

岩槻高校と本校は、平成20年頃から年1回の交流活動を行っています。この交流活動の目的は、小学校は「学習や活動に対する興味・関心・意欲を高め、地域とともにある学校づくりを推進する」ことで、高校は「社会参画意識やボランティア意識を高める」ことです。高校生は各クラスに分かれ、それぞれ英語を交えて自己紹介のスピーチをしてくれました。国際理解教育に力を入れている岩槻高校と、楽しんで英語交流ができました。生徒たちは、「一日先生」として、一生懸命に子ども達の学習を支援したり、休み時間に遊んだりしていました。どの学年の子ども達も、嬉しそうに高校生と交流している様子が見られました。

また、岩槻高校の校長先生には、学校運営協議会の委員も務めていただいております。10月21日(火)の第2回学校運営協議会では、委員の皆様にご各学年の4時間目の授業や、給食準備風景を参観していただきました。その後、多目的室で6年生の代表児童と給食の会食を行いました。小テーブルに分かれて、委員の皆様と子ども達が学校生活のことなどについて笑顔で話している様子はとても和やかでした。子ども達にとって、地域の方々とは色々な話ができる良い機会となりました。当日は「フランスの食文化を感じる学校給食」献立で、給食室で焼いたハムクロワッサンと、トマトのブイヤベース、フレンチサラダにデザートのカマンベールというメニューで、子ども達にも委員の皆様にも大好評でした。会食後には、和土小コミュニティ・スクールテーマ「明るく・楽しく・元氣よく あいさつができる和土っ子」の取組について、熟議(話し合い・聴き合い)をしました。熟議では、授業で生き生きと学んでいる子ども達の成長の様子や、廊下ですれ違う時に元気に挨拶をする子ども達の様子が話題になりました。今後も、地域行事や教育活動を通して、学校・家庭・地域が「和」(パートナーシップ)でつながり、子ども達の健やかな成長を皆で手と手を取り合って見守っていければよいと思っております。

さて、11月17日(月)には、和土小・新和小・城南中の3校での共通献立「花笑み給食」を実施します。①「やまぶきライス(クリームソースかけ)」は、岩槻区の花「やまぶき」にちなんだ山吹色のご飯に、中庭で育ったカーリーケールの緑色で彩ったクリームソースをかけます。②「花笑みサラダ」は、花笑みの「花」にちなみ、花野菜のブロッコリーとカリフラワー(さいたま市産)のサラダです。③「黒門プリン」は、岩槻城にかつてあった黒門にちなんだ黒ゴマプリンです。地元の食材に親しむとともに、美味しい給食を通して「花笑み教育」の「自然とつながる」機会になればよいと考え、3校の栄養士・栄養教諭で協力して考えた献立です。美味しく、楽しみながら「花笑み教育」を進めていきます。